

# 公立病院経営強化プランの策定等について (豊能二次医療圏)

## 【病院一覧】

- ・市立豊中病院
- ・市立吹田市民病院

# 令和7年度(2025年度)市立豊中病院運営計画 中間見直し (概要版)

## 中間見直しの趣旨

市立豊中病院運営計画(令和5年度(2023年度)~令和9年度(2027年度))について、これまでの進捗状況の検証に加え、近年の物価高騰・人件費の増加等の社会情勢の変化や新たな課題を踏まえ、残る計画期間においても引続き地域の中核病院として、必要とされる急性期・専門的医療を提供する役割を果たすとともに、持続可能な病院経営を今後も継続していくため、中間見直しとして作成したものです。

## 令和5年度~現在までの主な取組みと成果

### 1. 急性期医療を中心とした医療機能の充実

- 消防局救急救命士の院内配置
- 土曜日手術開始
- 通常時間帯の手術運用効率化等実施

### 2. 地域連携の推進

- 患者総合支援部及び患者支援室の設置
- 「救急連携搬送(下り搬送)」の試行実施

### 3. 医療の安全と患者サービスの向上

- インシデント報告による医療の透明性確保
- 全入院患者を対象とした入院前支援の実施、多職種連携による患者・家族の不安に寄り添う体制構築と早期の課題把握

### 4. 安定した経営基盤の確立

- 長時間労働を行う医師への面談実施体制の拡充
- SPD(病院内物流管理業務)導入に向けた準備と整備

## 今後の課題

- 急性期病院としての機能をより適切に発揮するための疾患構成転換と緊急症例対応
- 重症・緊急症例の迅速かつ確実な受入れに向けた救急医療スペース拡充と体制の強化
- 満床時の受入れ困難解消に向けた、軽症・症状安定患者の他院入受診促進、転院先との連携強化、地域内での役割分担徹底
- がん手術などの比率向上のための、地域医療機関からの効果的な紹介・集患
- 医療事故等への的確な初期対応のための体制の充実と継続的な対応力向上
- 年末年始のインフルエンザ患者急増による外来待ち時間長期化と医療提供体制への影響
- こどもなど支援が必要なケースについて関係機関との連携体制強化
- 医師・看護師などの確保と定着に向けた職場環境の整備と貢献に応じた適切なインセンティブの付与
- 費用増により赤字幅が拡大する中、安定的な運営継続に向けた収支の均衡

## 今後の主な取組み

- DPC特定病院群へのステージアップに向けた医療の質向上等の取組み
- 手術件数の増加に向けた運用整備などの取組み
- 外来業務の見直し
- 救急スペースの拡張による救急患者受入れ体制の強化・スペースのさらなる有効活用
- 速やかな転院・退院に向けた支援の強化
- 集患強化と症状が安定した患者さんの地域の医療機関への引き継ぎ(逆紹介)の徹底
- 入退院支援のさらなる充実
- 児童相談所など関係機関との連携体制強化
- 医療DXの導入(オンライン診療)
- 柔軟な勤務体制の活用
- 院内表彰制度の拡充及び看護師の職級見直しに向けた調整
- 疾患構成の転換による診療単価の向上
- 費用管理の徹底
- 医療DXによる業務効率化

## 中間見直しによる今後の施策展開について

### 施策展開の重点方針

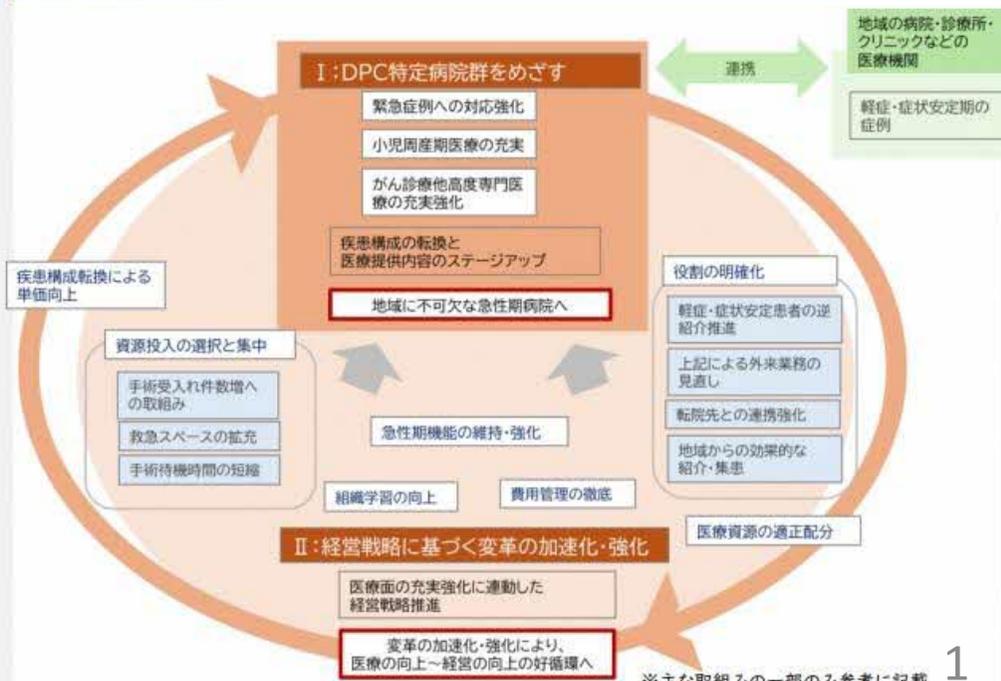
#### I .DPC特定病院群をめざす

- 緊急症例への対応強化、小児周産期医療の充実、がん診療はじめ高度専門医療の充実強化を核に、疾患構成を転換しつつ医療面の充実強化をはかります。
- 医療提供の内容においてステージアップし、地域に不可欠な急性期病院として市民・地域医療機関等からの信頼を揺るぎないものとします。

#### II .経営戦略に基づく変革の加速化・強化

- 資源投入の選択と集中、役割の明確化とポジションの確立、組織学習の向上等、医療面の充実強化に連動した経営戦略を推進します。
- 変革の加速化・強化により、医療の向上~経営向上の好循環への到達をめざします。

## 重点方針と取組みのイメージ



# 市立吹田市民病院 第4期中期計画(案)の概要

第1 中期計画の期間 令和8年4月1日から令和12年3月31日までの4年間

※表中の<>内は目標指標

## 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

### 1 大阪府地域医療構想を踏まえて当院が果たすべき役割

- (1) 基本的な考え方
  - ◎地域の診療所や民間病院等では対応できない入院・手術を中心とした医療を提供
  - ◎総合病院として多様な医療需要への対応
  - 病床機能ごとに見込まれる医療需要増加への対応
- (2) 必要な病床機能への対応  
機能別病床数
- (3) 病床機能や経営状況の見える化  
地域で求められる当院の役割・病床機能についての情報発信
- (4) 地域医療構想における医師派遣への対応

### 2 市立病院として担うべき医療

- (1) 総論
  - ◎総合病院として、地域の医療機関だけでは対応が困難な症例に対し、医療を提供する。
  - ◎高齢化に伴い今後増加が想定される、がん、整形外科及び呼吸器系疾患に重点的に取り組む
  - 政策医療についても、他の医療機関との機能分担・連携の下、市立病院の役割を果たす
- (2) 救急医療  
＜時間外救急車搬送受入率、(時間内・外)救急車搬送受入件数＞
- (3) 小児医療・周産期医療
- (4) 災害医療
- (5) 感染症医療
  - ・クラスター発生時に備えた対応方針の共有
  - ・感染拡大時の体制を想定した専門人材の確保・育成
- (6) がん医療  
＜がん入院患者数、化学療法適用患者数、放射線治療患者数、がん手術患者数、＞
- (7) リハビリテーション医療  
＜回復期リハ病棟の病床稼働率＞
- (8) 難病に関する医療

### 3 信頼される医療の提供

- (1) 医療の質と安全性の向上
- (2) 法令・行動規範(コンプライアンス)の徹底
- (3) 患者満足度の向上

### 4 市の地域包括ケアシステムの構築に貢献する地域完結型医療の体制づくり

- (1) 地域の医療機関(かかりつけ医等)との機能分担・連携
  - ◎紹介、逆紹介の徹底及び在宅医療の支援
  - かかりつけ医定着に向けた取組
  - ＜紹介・逆紹介件数＞
- (2) 在宅医療の充実に向けた支援
  - ◎円滑な退院支援
  - 在宅療養者の急変時の受入れ
  - 地域の診療所等との症例検討や意見交換
- (3) 地域医療への貢献等
  - 地域の医療従事者への支援
  - ・地域の医療従事者へ向けた研修会の開催
  - ・施設や設備の共同利用
- (4) 福祉保健施策への協力・連携

### 5 健都における総合病院としての役割

- (1) 国立循環器病研究センターとの機能分担・連携
  - ◎診療における連携
    - ・高度急性期を脱した患者を当院で受け入れる
    - ・複合的な疾患を有する患者への円滑な対応
    - ・急性期脳血管障害患者のリハビリテーションについて、回復期リハビリテーション病棟において円滑に受入れる
  - その他の連携(共同研究、機器の共同利用等)
- (2) 他の健都内事業者等との連携した予防医療に関する取組

## 第3 業務運営の改善及び効率化

### 1 効果的・効率的な業務運営

- (1) 重点課題の共有及び目標達成に向けた取組
- (2) 目標管理の徹底
- (3) 業務効率化に向けた取組

### 2 働きやすい職場環境の整備

- (1) 働き方改革の推進
- (2) 人材の確保・養成
  - ・人材の確保
  - ・医療従事者の質の向上と研修体制の充実

## 第4 財務内容の改善

### 1 経営基盤の確立

＜経常収支比率、医業収支比率＞

### 2 収益の確保と費用の節減

- (1) 収益の確保
  - ・救急患者、紹介患者の確保
  - ・施設基準の取得
  - ・未収金の発生予防・早期回収
  - ＜病床稼働率、入院外来患者数、および診療単価、新入院患者数、手術件数＞
- (2) 費用の節減  
＜人件費比率、経費比率、材料費比率＞

### 3 施設・設備の適正管理

## 第5 その他業務運営に係る事項

### 1 デジタル化への対応

- (1) 医療情報システムの安全管理
- (2) 医療DXの推進

### 2 情報の提供

- ・広報誌やホームページ等での医療情報・経営状況についての情報発信

### 3 環境に配慮した病院運営

- ・環境に配慮した病院設備の活用

## 第6 予算、収支計画及び資金計画

以下省略